2026年11月12日

各　　位

会 社 名　株式会社城南進学研究社
代表者名　代表取締役社長ＣＥＯ　千島　克哉
（コード番号 4720　東証スタンダード・札証）
問合せ先　専務取締役ＣＦＯ　杉山　幸広
（ＴＥＬ.044-246-1951）

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異および特別損失の計上に関するお知らせ

2026年５月20日に公表した2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

１.2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値との差異
（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,918	68	63	42	5.33
今回修正予想（B）	2,968	64	62	17	2.14
増減額（B－A）	49	△3	△1	△25	
増減率（%）	1.7	△5.4	△1.6	△59.9	
（参考）前期第２四半期（中間期）実績（2026年３月期第２四半期(中間期)）	2,983	109	108	99	12.37

２．修正の理由

当連結会計年度の売上高につきましては、個別指導部門（個別指導塾「城南コベッツ」）において、前年を上回る生徒数で推移したことや、デジタル教材・ソリューション部門において、WEBアプリ「推薦ラボ」の販売やオンライン学習教材「デキタス」の新規契約が増加したことなどにより、前回発表予想を上回りました。なお、2026年５月に有限会社吉祥を子会社化したことにより、売上に寄与いたしましたが、取得関連費用としてアドバイザリー費用等を一括計上したことなどにより、営業利益においては予想通りの着地となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、法人税の計上および後述する特別損失の計上などにより、予想を下回ることとなりました。

３．特別損失の計上及びその内容

直近の動向を踏まえて中長期計画の見通しについて精査した結果、教育事業における一部固定資産等について減損損失８百万円および一部子会社において計上した和解金３百万円を特別損失に計上することとなりました。

４．期末配当について

期末配当につきましては、１株当たり５円から変更はございません。

なお、通期連結業績予想につきましては、現時点では前回予想値を据え置いております。今後、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

以上